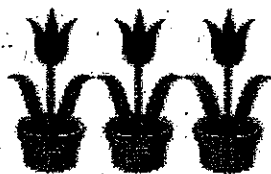




令和6年度 福岡県立小倉西高等学校

P T A 総 会 議 案 書



令和6年度 P T A定期総会次第

(総会成立宣言)

- (1) 開会のことば
- (2) P T A会長挨拶
- (3) 校長挨拶
- (4) 議長選出
- (5) 議事

- ① 令和5年度活動報告(案) 2
- ② 令和5年度決算報告(案) 3～4
- ③ 令和5年度会計監査報告 3～4
- ④ 令和6年度役員選出
- ⑤ 令和6年度活動計画(案) 5
- ⑥ 令和6年度予算(案) 6～7

(6) 旧役員挨拶 新役員紹介

(7) 令和6年度 管理職・校務運営委員紹介

(管理職)	校 長	松本	英	
(管理職)	教 頭	田中	厚範	
(管理職)	事務長	本木	ひびき	
教 務 部 長	主幹教諭	福野	恭子	(広報)
生徒指導部長	主幹教諭	鳥井	秀樹	(安全安心)
進路指導部長	教 諭	鈴木	久美子	(広報)
企画研修部長	指導教諭	鈴木	敬輔	(広報)
学級総長・第1学級	教 諭	馬場	正人	(学年)
第2学年主任	教 諭	松本	寛史	(学年)
第3学年主任	教 諭	徳永	仁	(学年)
教 務 課 長	教 諭	武吉	大輔	(広報)
情報広報課長	教 諭	佐々木	篤	(広報)
生徒指導課長	教 諭	西脇	裕子	(安全安心)
保 健 課 長	教 諭	河口	伸一	(安全安心)
進路指導課長	教 諭	上田	卓	(広報)
キャリア教育課長	教 諭	亀崎	大樹	(広報)
研修図書課長	教 諭	庄島	圭介	(広報)
企 画 課 長	教 諭	高田	優子	(安全安心)

(8) 令和6年度分掌の努力目標

- ①教務部 ②生徒指導部 ③進路指導部

(9) 閉会のことば

(10) 諸連絡

令和5年度 PTA活動報告

月日	事 項	内 容
4/28	PTA総会	令和4年度活動報告・4年度決算・5年度予算審議
4/28	委員総会	各委員会
5/18	北九州地区高P連定期総会	(小倉リーセントホテル)
5/22	広報委員会	広報誌について意見交換
5/26	学年委員会	業務内容説明・食堂試食会打合せ
6/2	県高P連定期総会	(福岡リーセントホテル)
6/6	第1回役員会・理事会	新役員紹・令和5年度の活動について他
6/10	体育大会	役員会・各委員会
6/27	食堂試食会	唐揚げ定食他試食(参加者76名)
6/29、30	九高P連大会	佐賀大会(佐賀市文化会館他)
7/13	第2回役員会・理事会	役員会・各委員会活動・体育大会について他
7/31	県高P連指導者研修会	(福岡リーセントホテル)
8/2	3学年強化学習会激励会	ウイダーインゼリー配付
8/24、25	全国高P連全国大会	宮城大会(カメイアリーナ仙台)
8/31	第3回役員会・理事会	高P連全国大会の報告について他
9/15	学年委員会	文化祭バザー・日帰り研修旅行打合せ
10/5	第4回役員会・理事会	文化祭・研修日帰り旅行について他
10/13、14	文化祭	PTAバザー(焼きそば・フランクフルト・西高パン他)
11/2	学年委員会	文化祭バザー収支報告・日帰り研修旅行資料作成
11/14	北九州地区公立高等学校PTA役員研修会	(小倉リーセントホテル)
11/17	広報委員会	広報誌についてレイアウト他打合せ
11/27	研修日帰り旅行	雷山千如寺・九州大学他
12/14	第5回役員会・理事会	共通テスト激励品・卒業記念品について他
1/12	共通テスト激励会	必勝合格カイト・キットカット配付
2/1	第6回役員会・理事会	来年度の役員選考について他
2/15	北九州地区公立高等学校PTA連合会会長連絡会議	(小倉リーセントホテル)
2/16	学年委員会	活動報告及次年度役員決め
2/22	役員・理事	在校生へ来年度PTA委員ご協力をお願い配付
3/1	卒業式	中会長出席
3/15	役員・理事	合格者説明会・新1年生へPTA委員ご協力をお願い配付・回収
3/18	役員・理事	令和6年度役員選出会議
4/9	入学式	中会長出席
4/25	第7回役員会・理事会	令和5年度決算、令和6年度予算・役員選考・PTA総会・津苑会総会誌広告協賛について他

令和5年度 PTA会費決算書

収入の部 福岡県立小倉西高等学校 (単位:円)

科 目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	比較増減 ②-①	内 容
繰越金	2,669,843	2,669,843	0	4年度からの繰越
会費	6,720,000	6,857,800	137,800	会費 300円×基べ8,570件会費 800円(旧年度)×基べ3件
雑収入	900	48	△852	預金利息等
合 計	9,390,743	9,527,691	136,948	

支出の部

科 目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	差引残額 ①-②	内 容
運 営 費	3,800,000	3,487,297	312,703	
事務局費	2,440,000	2,249,397	190,603	
会議費	300,000	185,136	114,864	役員会、委員交通費、茶代
会費負担金	220,000	209,310	10,690	県高P連会費
人件費	1,740,000	1,735,367	4,633	PTA雇用事務員給与、保険料
渉外費	50,000	44,320	5,680	対外折衝費
事務費	80,000	60,554	19,446	用紙・文具代等
通信費	30,000	14,710	15,290	切手代他
諸経費	20,000	0	20,000	
事業費	1,360,000	1,237,900	122,100	
研修会費	500,000	483,883	16,117	各研修会
活動費	800,000	737,205	62,795	委員会活動費、PTA行事用テント
慶弔費	50,000	16,812	33,188	祝儀、香典等
雑費	10,000	0	10,000	
学校援助費	5,029,000	3,769,693	1,259,307	
教育充実費	4,434,000	3,508,680	925,320	
学校行事費	1,150,000	1,135,308	14,692	入学式・卒業式、文化祭・体育大会等経費
図書購入費	784,000	783,994	6	図書館図書購入費
教材教具費	50,000	33,088	16,912	各教科等教材費
研究部会費	380,000	227,290	152,710	各教科研究部会費等
部活動指導手当	1,870,000	1,129,000	741,000	
学校支援整備準備金	200,000	200,000	0	
維持費	310,000	192,393	117,607	
保健衛生費	50,000	49,311	689	洗淨剤 薬品
需用費	160,000	123,282	36,718	新聞代、外消耗品代
環境整備費	100,000	19,800	80,200	樹木害虫駆除
諸費	285,000	68,620	216,380	
校務費	200,000	53,020	146,980	校務関係書物諸費用
旅費	80,000	15,600	64,400	
雑費	5,000	0	5,000	
予備費	561,743	0	561,743	
合 計	9,390,743	7,256,990	2,133,753	

収入金額 9,527,691 - 支出金額 7,256,990 = 残高 2,270,701 (次年度に繰り越します)

◎学校支援整備準備金収支決算書

収入の部

費 目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	比較増減 ②-①	内 容
繰越金	3,982,442	3,982,442	0	4年度からの繰越
学校支援整備準備金	200,000	200,000	0	
雑収入	660	38	-622	預金利息
合 計	4,183,102	4,182,480	-622	

支出の部

費 目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	差引残額 ①-②	内 容
	0	0	0	
	0	0	0	
合 計	0	0	0	

収入金額 4,182,480 - 支出金額 0 = 残高 4,182,480 (次年度に繰り越します)

以上のとおり収支決算を報告します。

令和6年4月23日

福岡県立小倉西高等学校PTA 会長 中 美貴

令和4年度決算について監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和6年4月23日

監査

監査

佐藤明美

下田かおり

令和5年度 学術・文化・体育振興費決算書

収入の部 福岡県立小倉西高等学校 (単位:円)

費目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	比較増減 ②-①	内 容
繰越金	2,227,511	2,227,511	0	4年度からの繰越金
会費	3,585,600	3,781,350	195,750	@450×延べ8,403件
雑収入	110	15	△95	預金利息
合計	5,813,221	6,008,876	195,655	

支出の部

費目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	差引残額 ①-②	内 容
皆勤賞	350,000	51,000	299,000	図書カード
学術優秀賞	150,000	42,000	108,000	賞状用紙・優秀賞功労賞図書カード
学力補充費	200,000	93,613	106,387	共通テスト激励会・強化学習会
部活動指導手当	500,000	164,957	335,043	バトン部・アート部(外部講師)
部活動遠征費補助	300,000	196,186	103,814	九州・全国大会出場物品補助
部活動応援費	750,000	432,000	318,000	ユニフォーム代
部活動施設設備整備費(少額分)	100,000	100,000	0	テニスネットスチールワイヤーロープ
損害保険料	100,000	42,313	57,687	野球(硬式)賠償責任保険料
生徒会補助	1,250,000	1,250,000	0	生徒会補助
生徒会イベント補助	0	0	0	
マイクロバス整備維持費	600,000	329,546	270,454	自動車税、整備料、保険代
学術文化体育振興費準備金	600,000	600,000	0	学術文化体育振興費準備金口座に預入
スクールカウンセラー費	400,000	6,420	393,580	カウンセラー報酬
予備費	513,221	378,116	135,105	教室用掃除用具入れ
合計	5,813,221	3,686,151	2,127,070	

収入決算額 6,008,876 - 支出決算額 3,686,151 = 差引金額 2,322,725 (次年度に繰り越します)

令和5年度学術・文化・体育振興費準備金決算書

収入の部

費目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	比較増減 ②-①	内 容
繰越金	3,516,175	3,516,175	0	4年度からの繰越金
積立金	600,000	600,000	0	学術文化体育振興費から
雑収入	620	32	△588	預金利息
合計	4,116,795	4,116,207	△588	

支出の部

費目	5年度 予算額①	5年度 決算額②	差引残額 ①-②	内 容
教室環境整備補助	4,116,207	166,100	3,950,107	教室に扇風機設置のための電気工事
合計	4,116,207	166,100	3,950,107	

収入決算額 4,116,207 - 支出決算額 166,100 = 差引金額 3,950,107 (次年度に繰り越します)

以上のとおり収支決算を報告します。

令和6年4月23日

福岡県立小倉西高等学校PTA 会長 中 美貴

令和4年度決算について監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和6年4月23日

監査

監査

佐藤 明美

下田 かおり

令和6年度 活動計画（案）

本規約の第2条、第3条に基づき事業の活性化を目指し、本年度の重点項目を次のように計画する。

各委員会の活動と学校行事への積極的協力

役員会	PTA交流会		
	新規事業の企画		
	体育大会PTA企画		
委員会	内 容	期 日	
学年委員会	学校食堂試食会	未定	
	PTA研修（大学・地域視察等）	未定	
	文化祭バザー主催	10月	
広報委員会	会報「美すじ」発行 年1回発行	1-3学期	
安全安心委員会	体育大会・校内パトロール	6月	
	小倉祇園・校外パトロール	7月	
	文化祭・バザー手伝い	10月	
役員選考委員会	令和7年度役員選考	3学期	

令和6年度 PTA会費予算書(案)

収入の部

(単位:円)

科	目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
繰越金		2,270,701	2,669,843	△ 399,142	5年度からの繰越
会費		7,104,000	6,720,000	384,000	◎800×生徒、職員 延べ8,880名
雑収入		900	900	0	預金利息等
合 計		9,375,601	9,390,743	△ 15,142	

支出の部

科	目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
運営費		4,070,000	3,800,000	270,000	
	事務局費	2,510,000	2,440,000	70,000	
	会議費	300,000	300,000	0	各委員会会議交通費等
	会費負担金	250,000	220,000	30,000	高P連会費
	人件費	1,780,000	1,740,000	40,000	PTA雇員給与、社会保険料、雇用保険料
	渉外費	50,000	50,000	0	対外折衝費
	事務費	80,000	80,000	0	請用紙、事務用品代
	通信費	30,000	30,000	0	切手代等
	諸経費	20,000	20,000	0	
	事業費	1,560,000	1,360,000	200,000	
	研修会費	600,000	500,000	100,000	全国大会、九州大会、各研修会
	活動費	900,000	800,000	100,000	各委員会等活動費
	慶弔費	50,000	50,000	0	
	雑費	10,000	10,000	0	
学校援助費		4,895,000	5,029,000	△ 134,000	
	教育充実費	4,300,000	4,434,000	△ 134,000	
	学校行事費	1,200,000	1,150,000	50,000	入学式・卒業式、体育大会、文化祭等
	図書購入費	800,000	784,000	16,000	図書館図書購入
	教材教具費	50,000	50,000	0	保健雑誌、新聞代等
	研究部会費	380,000	380,000	0	各種協議会、研究部会費等
	部活動指導手当	1,870,000	1,870,000	0	
	学校支援準備金	0	200,000	△ 200,000	
	維持費	310,000	310,000	0	
	保健衛生費	50,000	50,000	0	
	需用費	160,000	160,000	0	消耗品代
	環境整備費	100,000	100,000	0	
	諸費	285,000	285,000	0	
	校務費	200,000	200,000	0	校務関係諸費用
	旅費	80,000	80,000	0	研修会等旅費
	雑費	5,000	5,000	0	
予備費	予備費	410,601	561,743	△ 151,142	
合 計		9,375,601	9,390,743	△ 15,142	

令和6年度 学校支援整備準備金予算書(案)

収入の部

(単位:円)

科	目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
繰越金		4,182,480	3,982,442	200,038	5年度からの繰越
学校支援準備金		0	200,000	-200,000	
雑収入		660	660	0	預金利息等
合 計		4,183,140	4,183,102	38	

支出の部

科	目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
合 計		0	0	0	

令和6年度 学術・文化・体育振興費予算書(案)

収入の部

(単位:円)

費目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
繰越金	2,322,725	2,227,511	95,214	5年度からの繰越
会費	3,801,600	3,585,600	216,000	@450×延べ8,448
雑収入	110	110	0	預金利息
合 計	6,124,435	5,813,221	311,214	

支出の部

費目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
皆勤賞	350,000	350,000	0	図書カード等
学術優秀賞	150,000	150,000	0	賞状用紙、図書カード
学力補充費	200,000	200,000	0	共通テスト激励会・強化学習会
部活動指導手当	400,000	500,000	△ 100,000	部活動外部講師等
部活動遠征費補助	300,000	300,000	0	九州大会、全国大会補助
部活動応援費	900,000	750,000	150,000	横断幕・懸垂幕・ユニホーム補助
部活動施設設備整備費(少額分)	100,000	100,000	0	小規模な施設設備整備
野球部損害保険料	100,000	100,000	0	野球部保険料
生徒会補助	1,250,000	1,250,000	0	生徒会補助
生徒会イベント補助	0	0	0	
マイクロバス整備維持費	600,000	600,000	0	税、整備料、保険料
学術文化体育振興費準備金	600,000	600,000	0	積立金口座に預入
教育相談費	200,000	400,000	△ 200,000	スクールカウンセラー等に対する報酬
予備費	974,435	513,221	461,214	大規模改造工事に係る費用等
合 計	6,124,435	5,813,221	311,214	

◎令和6年度学術・文化・体育振興費準備金予算書(案)

収入の部

費目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
繰越金	3,950,107	3,516,175	433,932	5年度からの繰越
積立金	600,000	600,000	0	学術文化体育振興費から
雑収入	620	620	0	預金利息
合 計	4,550,727	4,116,795	433,932	

支出の部

費目	本年度 予算額①	5年度 予算額②	比較増減 ①-②	内 容
			0	
合 計	0		0	

令和6年度 PTA役員・理事名簿(案)

役職名	氏名	年	組
会 長	中 美貴	3	6
副会長	河村 紀子	3	2
副会長	溝手 美智子	3	4
副会長	平井 由香	2	6
副会長	榎山 暁	2	1
書 記	嵯峨山 久美	2	6
会 計	末次 のり子	1	1
安全・安心委員長	橋本 昌治	3	1
〃 副委員長	松田 敦子	3	3
広報委員長	森松 展子	3	2
〃 副委員長	花山 久美子	3	1
学年委員長	甲田 あゆみ	2	5
〃 副委員長	行実 利穂	3	4
〃 副委員長	山之内 真理	3	1
〃 副委員長	後藤 優子	2	3
校 長	松本 英		
教 頭	田中 厚範		
事務長	本木 ひびき		



校訓 **強く 正しく 美はしく**

強 く → 困難に耐えて生き抜く逞しさ
 正しく → 確かな学力と公正な判断力
 美はしく → 礼儀正しく誠実な心

スクール・ミッション (西高が目指す学校像)

知性と品格を備え、社会をけん引する人材を育成する学校。

- ・教育目標「Agency」(主体性・自立性)のスローガンを掲げ、「自ら考え、主体的に行動し、責任を持って社会変革を実現していく生徒」を育成します。
- ・校訓「強く・正しく・美はしく」のもと、心身ともにたくましく、確かな学力と公正な判断力を有し、礼儀正しく誠実な心を持つ生徒を育成します。

スクール・ポリシー (西高の3つの教育方針)

アドミッション・ポリシー (本校が求める生徒像)

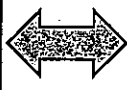
- ・自らの将来を真剣に考え、主体的に学ぶ意欲を持った生徒
- ・協調性や主体性に富み、豊かな心を持った生徒
- ・失敗を怖れず何事にも積極果敢に挑戦する生徒

カリキュラム・ポリシー (本校が展開する教育活動)

- ・生徒が主体的・協働的に企画運営する学校行事の実施
- ・地域の教育資源を活用した体験活動・探究活動の実施
- ・ICTを活用した個別最適な学びの提供

グラデュエーション・ポリシー (本校が目指す資質・能力)

- ・主体的に学び続け、自己実現を目指す生徒の育成
- ・他者を尊重し、他者と協働する力を持った生徒の育成
- ・変化に柔軟に適應する力を持った生徒の育成



- 地域
- PTA
- 中学校
- 大学
- 津苑会 (同窓会)
- スクールカウンセラー
- 訪問相談員

「鍛ほめ福岡メソッド」の実践 ~鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす~

小倉西高校はみずからすすんでじぶんを高める学校です。

「三筋 (みすじ)」の伝統: 福岡県立小倉高等女学校であった大正元年 (1912年) 当時、本校の制服と社会進出を果たした職業婦人の制服とが紛らわしくなり袴に筋を付けることになった。福岡高女 (現在の福岡中央高校) は裾に二本線、小倉師範附属小学校 (現在の福岡教育大学附属小倉小学校) が一本線を付けていたことから、区別のため本校は袴と校章に三本線をつけることとなった。上記キャッチフレーズはこの「三筋 (みすじ)」の伝統に由来する。

令和6年度の教育重点目標

- 1 教育内容の充実と改善
 - ① 学習指導要領や大学入試改革の動向等に対応できるカリキュラム構築と観点別学習評価の確立
 - ② 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善、教授内容の高度化、ICT機器の活用
 - ③ SDGsをテーマとする文理融合型探究活動の推進、産学官との連携強化
 - ④ 進路実現に効果的なキャリア教育の推進 (中高連携、高大連携等学校外の教育力の活用)
 - ⑤ 探究活動の充実により生徒の課題発見能力・課題解決能力の育成と表現力及びコミュニケーション能力の向上
- 2 生徒の人格形成に資する取組
 - ① 挨拶・服装・礼儀等、品格ある言動を身に付けさせる生徒指導の充実
 - ② 特別活動を通じた主体性・協調性の向上とリーダーシップの育成
 - ③ 多様性を認め合い、互いを尊重する人権教育、道徳教育の充実
 - ④ 成人年齢引き下げに伴う主権者教育、消費者教育の推進

各部教育活動方針

- 1 教務部
 - ① 「指導と評価の一体化」に向けた授業改善と教授内容の高度化
 - ② 個別最適な学びの実現に向けたICTの利活用
 - ③ 生徒、保護者、地域等との連携強化を意識した円滑な情報発信
 - ④ 教授内容の高度化を見据えたICT機器利活用の促進
- 2 生徒指導部
 - ① Agency（自主性・主体性）教育を推進し、生徒の社会規範意識・倫理観（人権意識）・自己指導力の育成
 - ② 挨拶・服装・礼儀等、品格ある行動を身につけさせる指導の充実
 - ③ ネット社会における危機意識・規範意識・道徳観等についての意識向上
- 3 進路指導部
 - ① 進路探究力の醸成
 - ② 新課程入試に対応できる指導体制の構築
 - ③ 進路目標を明確にし、主体的に学習する生徒の育成
 - ④ 自ら情報収集を行い、自身の課題を認識・解決していく生徒の育成
- 4 企画研修部
 - ① Society5.0における教職員に必要な指導力の育成を支援する
 - ② 令和の日本型学校教育における教職員の教科指導力の向上を支援する
 - ③ 教育内容をより充実させるため、教育活動全体で図書館の活用を推進する
 - ④ 式典や学校行事が円滑に実施できるように、早期に綿密な計画を立てる
 - ⑤ 学校内の環境整備に努め、教育活動が円滑に行われるように庶務営繕に努める
- 5 学年統括部
 - (1) 学年統括部
 - ① 生徒自ら考え行動し検証する「総合的な探究の時間」の構築
 - ② 学年の枠を越えた学校行事やSDGs活動の企画・立案・実施
 - ③ 産学官との連携を強化し、SDGsをテーマとする文理融合型探究活動の推進
 - (2) 第1学年
 - ① 基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の育成
 - ② 学習意欲の向上と進路意識の高揚
 - (3) 第2学年
 - ① 自ら考え主体的に行動する生徒・学年集団の育成
 - ② 学習意欲の向上と進路意識の高揚
 - (4) 第3学年
 - ① 希望進路実現に向けて、主体的に学習に取り組み、最後まで粘り強く頑張る生徒
 - ② 最高学年として、学校行事において学年全体で協力しつつ、リーダーシップを発揮できる生徒
 - ③ きちんと挨拶ができ、社会のルールやマナーを遵守する意識を持った生徒
- 6 事務室
 - ① 財産会計事務の適正な執行
 - ② 学校運営方針に沿った予算の有効活用
 - ③ 物品・財産の適正な管理



令和5年度 進路実績および部活動成績

合格者一覧(最近5ヶ年)

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計
国立大	23	2	25	23	3	26	29	3	32	18	5	23	21	4	25
公立大	58	1	59	49	2	51	34	1	35	29	1	30	46	2	48
国公立大計	81	3	84	72	5	77	63	4	67	47	6	53	67	6	73
私立大	279	12	291	225	19	244	186	15	201	240	14	254	277	5	282
大 学 校	5	1	6	5	1	6	8	0	8	8	0	8	8	0	8
国公立短大	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
私立短大	5	0	5	5	0	5	5	0	5	2	0	2	7	0	7
専門学校	23	1	24	24	0	24	33	0	33	41	0	41	55	0	55
公務員	4	0	4	3	0	3	2	0	2	0	0	0	3	0	3
就職	1	0	1	1	0	1	3	0	3	1	0	1	0	0	0
合 計	398	17	415	336	25	361	300	19	319	339	20	359	418	11	429
R6/3/26現在	5クラス			5クラス			5クラス			5クラス			※6クラス		

令和5年度卒業生(76期生)の主な合格先

【国公立大学】		
九州大	学 2	九州工業大 7
新潟大	学 1	和歌山大学 1
佐賀大	学 4	山口大 3
熊本大	学 1	山口東京理科大学 2
南公立大	学 1	山口県立大 1
福岡県立大	学 4	福岡女子大 1
【私立大学・専門学校】		
西南学院大	学 12	福岡大 40
青山学院大	学 1	立教大 1
同志社大	学 1	関西学院大 2
関西大	学 1	近畿大 12
九州産業大	学 45	福岡工業大 81
北九州市立大	学 39	福岡教育大 1
大分大	学 3	下関市立大 7
九州歯科大	学 1	長崎県立大 2
産業医科大学	学 3	
法政大	学 1	
立命館大	学 1	
立命館アジア太平洋大	学 1	
北九州市立看護専門学校	学 6	

令和5年度 部活動成績

世界大会出場	
水 泳 部	[パラ水泳世界大会：シンガポール]100m平泳ぎ優勝 [WPS世界選手権：イギリス]100m平泳ぎ6位 [杭州2023アジアパラ水泳競技大会] 100m平泳ぎ大会新記録 金 200m個人メドレー銅、100m自由形銅、男女混合フリーリレー銀、混合メドレー銀1名
全国大会出場	
水 泳 部	[国民体育大会] 男子個人1名
九州大会出場	
卓 球 部	[全九州体育大会] 男子団体
水 泳 部	[全九州高校水泳大会] 男子2名 女子3名
県大会出場	
卓 球 部	団体男子、団体女子、個人男子5名、個人女子7名
バドミントン部	男女団体
弓 道 部	個人男子1名 女子1名
陸 上 部	走高跳 女子1名
書 道 部	女子1名
ア ー ト 部	女子1 2名
放 送 部	女子2名

福岡県立小倉西高等学校PTA規約

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、福岡県立小倉西高等学校PTAという。

(目 的)

第2条 この会は、学校・家庭・地域社会との密接な連絡と積極的な協力により、民主的教育の振興を図り、会員相互の知識・教養の向上を目的とする。ただし、営利を排し政党・宗教にかかわらない。また、学校行政の指導及び教育方針への干渉は行わない。

(事 業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 教育環境の整備充実
- 2 教育目的達成のための調査研究
- 3 学校教育と家庭教育の連携
- 4 会員の研修と親睦
- 5 教職員・生徒の支援に関する事項
- 6 その他目的達成に必要な事業

第2章 組 織

(会 員)

第4条 この会の会員は次のとおりとする。

- 1 本校生徒の保護者
- 2 本校の教職員
- 3 本校の卒業生の両親、または保護者で会の目的に賛同する者は、理事会の承認を得て賛助会員となることができる。ただし、期間は1年に限る。

(事 務 局)

第5条 この会の事務局を福岡県立小倉西高等学校内に置く。

(権利と義務)

第6条 会員は、すべて同等の権利と義務を有し、この会の活動に積極的に参加するものとし、会の運営について意見を述べることができる。

- 1 会員は、所定の会費を納入しなければならない。ただし、理事会が必要と認めるときは、全額または一部を免除できるものとする。

(理 事)

第7条 この会に、次の理事を置く。

- 1 各委員会の正副委員長
- 2 各学年の学年主任ほか教師数名

(事務職員)

第8条 この会の事務を処理するために、事務職員を置くことができる。

- 1 事務職員は、会長が推薦し理事会で承認を得る。
- 2 就業規定・給与等は、別に定める。

第 3 章 役 員

(役 員)

第9条 この会に次の役員を置く。

会 長 1 名 副会長 4 名 書 記 2 名 (内1名は教職員)
会 計 2 名 (内1名は事務長)

(役員の選出)

第10条 役員は役員選考委員会で選考し、年度当初の総会で選出する。

(役員の仕事)

第11条 役員の仕事は次のとおりとする。

- 1 会長は、会務を総括し会を代表する。
- 2 副会長は、会長を補佐し会長不在のときは、その仕事を代行する。また事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 書記は、諸会議の連絡並びに議事を記録し、関係書類を保管し、会の事務を処理する。
- 4 会計は、会の経費を収納し、支払等を行う。

(役員の仕事)

第12条 役員の仕事は、一年とする。ただし再任を妨げない。

第 4 章 機 関

(議決機関等)

第13条 この会に、次の議決機関等を置く。

1 総会 2 理事会 3 役員会 4 委員会 5 特別委員会

(総 会)

第14条 総会はこの会の最高議決機関で、会長が招集し、年度当初に開催する。ただし会員の10分の1以上の要請があった場合、または会長が必要と認めたときは速やかに臨時総会を開催しなければならない。

- 2 総会は、委任状を含めた会員の2分の1以上の出席によって成立し、出席者の過半数で議決する。ただし規約の改正は、出席者の3分の2以上の承認を要する。
- 3 総会の正副議長は、理事会構成員を除く会員中より選出する。
- 4 次の事項は、総会議決を経なければならない。

- (1) 規約の改正
- (2) 事業計画
- (3) 予算の審議及び決算の承認
- (4) 役員の選出
- (5) その他、重要事項

(理 事 会)

第15条 理事会は、役員と理事(委員会の正副委員長)・校長・教頭をもって構成し、会長が招集する。

2. 理事会は、次の事項を審議し処理する。

- (1) 総会において付託された事項
- (2) 総会の企画・議案
- (3) 総会において決定した方針に基づく業務の遂行
- (4) 総会において決定した予算や活動計画の補正
- (5) 各委員会の連絡調整
- (6) 各委員会の立案した計画の承認
- (7) 特別委員会の設置
- (8) その他、緊急事項

(役 員 会)

第16条 役員会は、役員・校長・教頭・事務長・理事(委員会の委員長)で構成し、必要に応じて会長が招集する。

2 役員会は、総会及び理事会で決定した方針に基づいて、諸行事や緊急事項を検討し理事会に建議する。

3 教職員・生徒・会員の教育上の要請に応じ、意見を学校及び会に反映させるとともに、会員相互の連帯親睦を図る。

4 1学年・2学年・3学年、学年単位の会員相互と教職員との情報交換及び親睦を図り、また研修を行う。

(委 員 会)

第17条 この会に次の委員会を置く。

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1 広報委員会 | 2 安全・安心委員会 | 3 学年委員会 |
| 4 役員選考委員会 | 5 特別委員会 | |

(委員会の目的)

第18条 委員会の目的は次のとおりとする。

- 1 広報委員会は、会の活動を会員に報告するとともに、会員相互の意思の疎通を図る。
- 2 安全・安心委員会は、学校・公共機関と協力して生徒の校内外における健全育成・非行防止を図り、安心・安全な学校生活を確保する。
- 3 学年委員会は、生徒の保健体育及び教職員・生徒の福利厚生に関する事項及び、研修や調査活動を通じて会員相互の知識教養の向上を図る。
- 4 役員選考委員会は、理事会より選出された委員で構成され、会の役員(会長・副会長・書記・会計・監事)を選考し、総会に諮る。
- 5 特別委員会は、理事会が特に必要とした目的を達成するための事項を担当する。

第 5 章 会 計

(監事)

第19条 この会の会計を監査するため2名以内の監事を置く。

- 2 監事は、総会において選任される。
- 3 監事は、役員、理事を兼ねることができない。

(事業費)

第20条 この会の事業費は次の収入をもってあてる。

- 1 会員による会費
- 2 本会の趣旨に賛同する者の搬出金
- 3 その他の収入

(会 費)

第21条 会費は会員1人あたり月額800円とする。ただし、会費の額の改定については総会において決定するものとする。

(会計監査)

第22条 監事はこの会の会計監査を行い、総会に報告する。

(会計年度)

第23条 この会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

附 則

- 1 この規約は昭和32年5月18日から施行する。
- 2 昭和50年5月一部改正
- 3 昭和50年10月一部改正
- 4 昭和51年5月15日一部改正
- 5 昭和54年5月19日一部改正
- 6 昭和60年5月12日一部改正
- 7 平成13年5月12日一部改正
- 8 平成17年4月23日一部改正
- 9 平成19年4月21日一部改正
- 10 平成21年5月全面改正
- 11 平成23年4月23日一部改正
- 12 平成24年4月27日一部改正
- 13 平成25年4月26日一部改正
- 14 平成31年4月26日一部改正
- 15 令和 2年4月21日一部改正

主な奨学金制度（昨年度参考資料）

※教室に掲示

下記は昨年度(令和5年度)に本校で募集をおこなった主な奨学金の一部です。

奨学金申込みを検討する際の参考にして下さい。

申込みの際には、学校からの推薦書や成績証明書、役所で申請取得する住民票や所得証明書等が必要な場合があります。また、多くの奨学金で家計基準が設けられています。

今年度は募集要件などが変更になっているものもあるので、詳細は必ず各奨学金ホームページで確認して下さい。

【在学募集】 在学生(1～3年生)対象で、高校在学中に支給されるもの

名称	月額	期間	募集時期	備考
福岡県教育文化奨学財団 奨学金《貸与》	1万円, 1.5万円 1.8万円から選択	高等学校 在学中	4月中旬頃 *緊急募集は随時	保護者が福岡県内に生活の本拠を有し、学資の支弁が困難な者
吉本章治奨学会 【給付】	15,000円 (年額18万円)	最長 2年間	～4月中旬	福岡県内に在住し、経済的な支援を必要とする者
朝鮮奨学会高校奨学生 【給付】	10,000円	1年間 (継続審査有)	～5月上旬	日本の各高等学校に在籍している、国籍表示が韓国もしくは朝鮮の学生
ひとり親家庭支援奨学金 制度【給付】	30,000円	1年間 (最長3年間)	～4月下旬	ひとり親世帯(母子家庭・父子家庭)で、経済的に困難な生徒
あしなが育英会【給付】	30,000円	高等学校 在学中	～5月中旬	保護者が病気や災害等で死亡、または著しい障害を負っており、経済的な援助を必要とする生徒
交通遺児育英会 《貸与・一部給付》	2万円, 3万円 4万円から選択 (入学一時金貸与有)	高等学校 在学中	～1月頃	保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の生徒
ニビキ育英会 【給付】	30,000円	高等学校 在学中	6月頃中旬 (1年次に申込み)	福岡県内に生活の本拠を有する母子家庭の子女で第1学年に在学中の者
北九州市奨学資金 (高校奨学生)《貸与》	18,000円	高等学校 在学中	～6月頃	北九州市に6か月以上住所を有する人、またはその子弟
福原育英奨学金 【給付】	100,000円 (年額)	1年間	～6月中旬	福岡県内に居住し、経済的理由で修学が困難と認められる者
日本教育公務員弘済会 【給付】	50,000円1回	1回	～9月上旬	学資金の支払いが特に困難と認められる生徒
似鳥国際奨学財団 【給付】	40,000円	1年間	～5月初旬	学資金の支払いが特に困難と認められる生徒

*《貸与》は卒業後、返還しなくてはならない奨学金です。(有利子・無利子あり)

【給付】は返還する必要がありませんが、採用条件が《貸与》より厳しくなります。

【予約募集】 (3年生対象で、高校在学中に進学後の奨学金を予約申込みするもの)

名称	月額	期間	募集時期	備考
日本学生支援機構(国内) 【給付】 ・給付奨学金 《貸与》 ・第一種奨学金(無利子) ・第二種奨学金(有利子)	【給付】《貸与》 ともに 国公立/私立 自宅通学/自宅外通学 から金額を選択	4月～卒業 (最短修学 年限)まで	第1回：4月末 ～5月末 第2回：6月 * R6年度 進学者対象 日程	【給付】《貸与》ともに「家計基 準」「学力基準」あり 機構への書類提出(学校経由)と、各 人でのインターネット申込みが必要 マイナンバーの提出が必要 ※毎年、申込み手順・日程が変わっ ているので注意
日本学生支援機構(国外) 《貸与》 ・第二種奨学金(有利子)	2万円～12万円まで 1万円単位で選択	入学～卒業 (最短修学 年限)まで	7月頃	提出書類等が「国内大学等予約採 用」より多いので注意が必要 進学先が国内・国外未定の場合、 「国内大学等予約採用」と「海外予 約奨学金」の両方への申込み可
あしなが育英会 《貸与》	一般 40,000円 特別 50,000円	4月～卒業 (最短修学 年限)まで	～6月中旬	保護者が病気や災害等で死亡、また は著しい障害を負っており、経済的 な援助を必要とする生徒
交通遺児育英会 《貸与・一部給付》	4万円, 5万円 6万円から選択 (入学一時金貸与有)	4月～卒業 (最短修学 年限)まで	～8月下旬 ～1月下旬	保護者等が道路における交通事故で 死亡したり、著しい後遺障害のため 働けなくなった家庭の生徒
北九州市大学奨学生 《貸与》	国公立45,000円 私立54,000円	4月～卒業	～12月上旬	北九州市に6か月以上住所を有する 人、またはその子弟
日本教育公務員弘済会 【給付】	30,000円	4月～卒業 (最短修学 年限)まで	～6月下旬	学費支弁が困難な者
余慶会 【給付】	900,000円 (年額)	4月～卒業 (最短修学 年限)まで	～12月中旬	福岡県内の高校に在学しているひと り親家庭の生徒
ニビキ育英会 【給付】	40,000円	4月～卒業 (最短修学 年限)まで	～1月中旬	福岡県内に生活の本拠を有する母子 家庭の子女
キーエンス財団奨学金 【給付】	100,000円	4年間 (最短修学 期間)	～4月上旬	経済的な支援を必要とする者
金澤奨学会 【給付】	200,000円 (大学進学支度費)	1回	～12月初旬	福岡県内の高校3年生で、経済的理 由により援助が必要な者

※日本学生支援機構の予約奨学金については、4月25日進路説明会で説明をおこなう予定です。
申し込む予定の人は必ず参加してください。申込みが3回ありますが、遅ければ、交付が遅れ
ますので、できる限り1回目で申し込むことをお勧めします。

ここに掲載したもの以外にも、さまざまな奨学金があります。随時案内をしますので、確認して
ください。

また、募集要件や日程が変わっているものもあるので、必ず今年度のものを確認して下さい。

大規模改修工事について

本校では、教育委員会の指定により、生徒達が学校生活を安全かつ快適に過ごし教育環境の向上を図ることができるよう令和7年度の中途より老朽化した学校施設の大規模改修工事が実施されます。

1 工事箇所

体育館、同窓会館を除く施設

2 主な工事内容

屋上防水：雨漏りを防ぐため、屋上の防水工事をを行います

外壁改修：外壁のひび割れ部分を改修し、塗装を行います

内部改修：天井、梁、壁を改修し、安全性や快適性が向上します

3 工事方法

仮設校舎を作らないで、既存の教室を移動しながら、改修

4 工期

令和7年度中途～令和14年度

